

第7回「土木機械設備技術研修会」開催のご案内

(一社)日本建設機械施工協会中国支部

拝啓 秋冷の候 会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また 日頃より当支部の事業推進について格別のご支援 ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の「第7回 土木機械設備技術研修会」を下記のとおり計画いたしました。

業務ご多忙中とは存じますが、会員の皆様多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

斐伊川は中国山地の船通山に源を発し、出雲平野を流れ、宍道湖、大橋側、中海、境水道を通じて日本海に注ぐ流域面積 2,070m²、幹川流路延長約 153km の河川です。この斐伊川上流域の大部分は風化花崗岩で覆われており、地域では風土記の時代から「鉄穴（かんな）流し」と呼ばれる方法で原料の砂鉄を採取し「たたら製鉄」と呼ばれる製鉄業が行われてきました。このため斐伊川は砂鉄を採取した残りの流出土砂が増加し網状砂州の発達した典型的な砂河川となり、河床が堤内地盤に比べて高い全国でも珍しい天井川となりました。過去の洪水記録では約 100 年に 10 数回もの洪水・氾濫があり、流域一帯に甚大な被害をもたらしています。このため洪水対策として①斐伊川（尾原ダム H24.3 完成）と神戸川（志津見ダム H23.6 完成）の上流にダムを建設、②中流の斐伊川放水路の建設（H25.6 完成）と、斐伊川本川の改修、③下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備の3つの事業を総合的に行う治水計画を実施しています。

このうち、中流の斐伊川放水路事業では出雲市大津町来原付近から同市上塩冶町半分までの 4.1km の区間を 96m の川幅で新たに掘削して神戸川に合流させ、さらに神戸川の川幅を平均で 1.5 倍（300～370 m）に拡幅し、これにより洪水時の斐伊川の水の一部を神戸川へ分流させて、斐伊川下流部や宍道湖の水位を低下させるものです。この中には橋の架け替え・新設は 25 橋、斐伊川分流部の分流堰、神戸堰の改築、新内藤川水門などの河川構造物建設などがありました。今回は、この分流堰、神戸堰において、機械設備の維持管理等の状況について実地研修を予定しております。

本研修会は土木施工管理技士、技術士資格取得者の継続学習制度（CPDS）等の学習プログラムとして認定されており、希望者には受講証又は参加証明書を発行いたします。

土木施工：3.0ユニット

技術士：3.0ユニット

敬具

記

1. 日 時：令和元年10月30日（水） 13:00～16:00
2. 場 所：出雲市大津町上栗原地先〈斐伊川放水路分流堰〉 出雲市古志町地先〈神戸堰〉
3. 内 容：
 - ①斐伊川放水路事業の概要について
放水路事業の概要、分流堰、神戸堰の概要
 - ②実地研修 [分流堰、神戸堰]
施設の概要とメンテナンス（点検（整備）の内容、状況等）について
・運用の状況と課題等について
・経年変化（故障・トラブル等）について
 - ③意見交換（質疑応答）
4. 予定行程：

12:50	現地集合・受付（時間厳守）
13:00～16:00	実地研修、意見交換
16:00	受講証・参加証明書発行後解散

5. 対象者：（一社）日本建設機械施工協会 中国支部会員

6. 予定人員：20名

*先着20名で締め切りますので早目にお申込み下さい。

*20名を超えた場合、複数で申込みの場合は人数を限定させていただきます。

7. 参加費：1,000円（資料印刷費等）

8. 支払方法：参加費の支払は、銀行振込・郵便振替又は当日持参して下さい。

銀行振込	広島銀行県庁支店 普通預金 No. 0620653 口座名 (一社) 日本建設機械施工協会中国支部
郵便振替	01380-6-2146 口座名 (一社) 日本建設機械施工協会中国支部

*当日の都合による不参加については、大変恐れ入りますが参加費の返金は致しかねます。

なお、参加申込み時に支払い方法「当日持参」を選択の方については、後日、請求書を送付させていただきますので、あしからずご了承ください。

9. 申込方法：10月23日（水）迄に別紙FAX送信票（土木機械設備技術研修会申込書）で申込み下さい。

※FAX送信票は中国支部ホームページからもダウンロード可能です。

10. 連絡・問合せ先：（一社）日本建設機械施工協会中国支部

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841 FAX 082-221-6831

携帯電話 090-8710-9413（清水）

11. その他：ヘルメット・作業服・安全靴等は各自ご持参下さい。

なお、気象状況等により中止する場合は前日（29日（火））に申込み担当者あてに連絡いたします。（従って担当者の連絡先は必ず明記願います）

12. 集合場所

放水路分流堰管理棟 出雲市大津町上栗原地先

